



「建築士資格取得を目指した基礎を学ぶ」

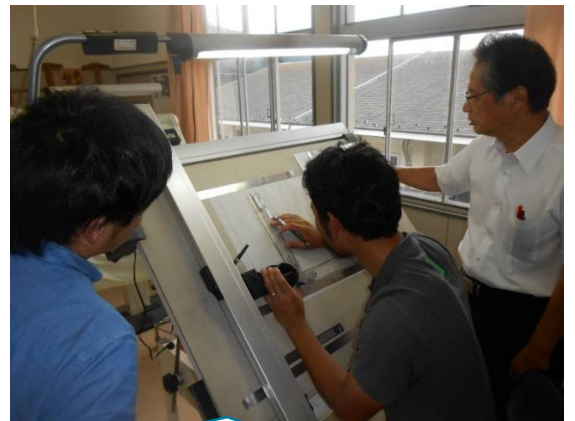
## 建築設計科

訓練期間 2年間（高等学校卒業以上・年齢、性別、経験等不問）

### 学習内容

#### 【ドラフター・平行定規を用いた「製図」の受験対策授業】

建築設計科では、「建築士」の受験対策を前提とした授業を行っています。建築士の資格取得のためには、国家試験に合格しなければなりません。そのため、実技試験として行われている「設計図」の製作は2次試験に課されますが、建築士として即戦力として活躍できる力量を備えた「建築士」をめざし一流の講師によるきめ細かな指導をしています。



ドラフターを用いた製図実習

#### 【測量実習】

建築現場での責任者として活躍する「建築士」その仕事をオールマイティでこなすためにも測量実習は欠かせないものです。

測量機器を使い、平板測量や水準測量など、測量技術の向上を目指した授業も行います。



建築士の資格を取る前に、仕事にすぐに生かせる技能も学べるなんて、すごい！



水準測量の実習

今身に付けた技能が、あなたの未来を拓く！

## 【建築知識を学ぶ】

木造建築・鉄骨構造建築には、法令等様々な制約があります。それは、「安全な構造物」を建てるためには欠かせない内容のものばかりです。より良い建築物を建てるために必要な構造力学・建築設備・建築構造論など座学で学習する内容も大事にしています。

建築士の試験は、これらの学科試験合格が第一の関門になります。



基本的知識事項の習得を大事に！

## 建築業界の新しいニーズに応えるために

☆学校では、そのニーズに応える建築大工・建築士を育成するためのカリキュラムづくりを考えています。

今や、建築業界に求められる人々のニーズは様々です。それらに応えられる建築大工・建築士の育成を目指した授業の工夫は欠かせないものです。

デザイン性を重視した「建築デザイン」の学習。

大きな地震に耐える、耐震・免震構造の住宅。

CADシステムを使った建築設計技術の応用。

学校ではこれらの学習環境を整えるための整備も考えているところです。

学ぶ生徒のたしかな力量形成をめざし、職員一同努力してまいります。

建築に求められる新しい技術が、現場を知り尽くした先生方に教えてもらえるのすごいですよ！



※ 「学科年間の主な予定」は、木造建築科と同じです。

## 「建築設計科」授業内容と時間数

教科の科目		時間	教科の細目	
系 基 礎 学 科	1	建築概論	10	・建築の概要・建築物の種類・建築史
	2	構造力学概論	30	・力の釣り合い・荷重と外力・断面の性質・基礎と地盤
	3	建築構造概論	60	・木造建築・プレハブ建築・枠組壁建築・鉄筋コンクリート造建築 ・鉄骨造建築
	4	建築計画概論	40	・全体計画・各部の計画・計画の進め方
	5	建築生産概論	20	・機械・工程管理・資材管理・生産管理・契約事務
	6	建築設備	20	・給排水設備・電気設備・空調設備・その他の設備
	7	測 量	10	・測量一般・測量機器・敷地測量・図面及び計算
	8	建築製図	20	・製図用具及び用紙・製図通則・建築物製図の概要
	9	安全衛生	20	・安全衛生管理・安全衛生関係法規・安全作業法
	10	関係法規	20	・建築基準法・建設業法・建築士法
	小 計	250		
専 攻 学 科	1	構造力学	50	・静定構造物・不静定構造物・応用と変形・構造物の変形
	2	建築構造	90	・鉄筋コンクリート構造・鉄骨構造・木構造・プレキャスト構造・組構造
	3	建築計画	50	・建築計画の進め方・建築環境調整・各種建築物の建築計画
	4	建築設計	50	・建築製図の表現・設計図の目的・建築設計図及び設備関係図の種類及び内容・CAD 操作
	5	建築施工法	60	・仮設工事・土工事・鉄筋コンクリート工事・鉄骨工事・仕上げ工事
		小 計	300	
基 礎 実 技	1	機械操作基本実習	70	・建築機械使用実習・CAD 操作・OA 機器操作
	2	測量基本実習	50	・平板測量・水準測量・トランシット測量・測量図
	3	安全衛生作業法	30	・安全作業法・衛生作業法
		小 計	150	
専 攻 実 技	1	木造建築設計実習	130	・木造建築物の設計及び製図
	2	鉄骨造建築設計実習	70	・鉄骨造建築物の設計及び製図
	3	鉄筋コンクリート造建築設計実習	100	・鉄筋コンクリート造建築物の設計及び製図
		小 計	300	
合 計		1000		
その他（社会・体育等）				